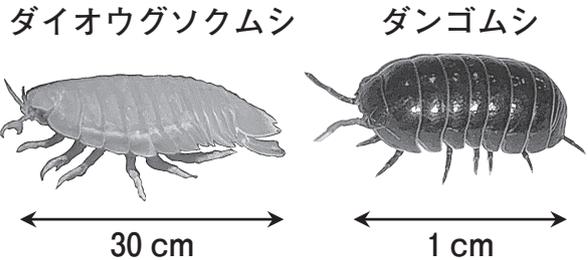


- 4 動物の体のつくりとはたらきの共通点や相違点に着目し、科学的に探究した内容を2つのレポートにまとめました。
 (1)と(2)の各問いに答えなさい。

レポート1の一部

【水族館の展示から】

ダイオウグソクムシは深海で生活しており、ダンゴムシと同じ甲殻類(エビやカニのなかま)である。



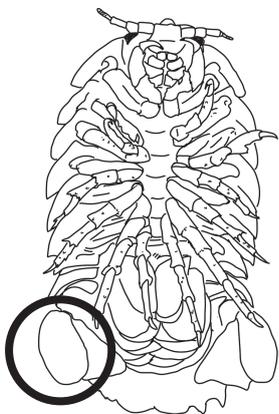
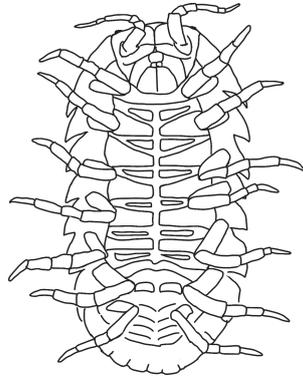
【疑問】

ダイオウグソクムシとダンゴムシは、同じ甲殻類であるが、体のつくりとはたらきは、どこまで似ているのか。

【課題】

ダイオウグソクムシとダンゴムシの体のつくりとはたらきの共通点と相違点は何か。

【調べたことと結果】

調べたこと	ダイオウグソクムシ	ダンゴムシ
食べもの	動物の死がい	落ち葉, 動物の死がい
あしのようにす	 泳ぐのに用いるあしがある	 泳ぐのに用いるあしがない
体の表面	外骨格	外骨格
子のうまれ方	卵生	卵生

【考察】

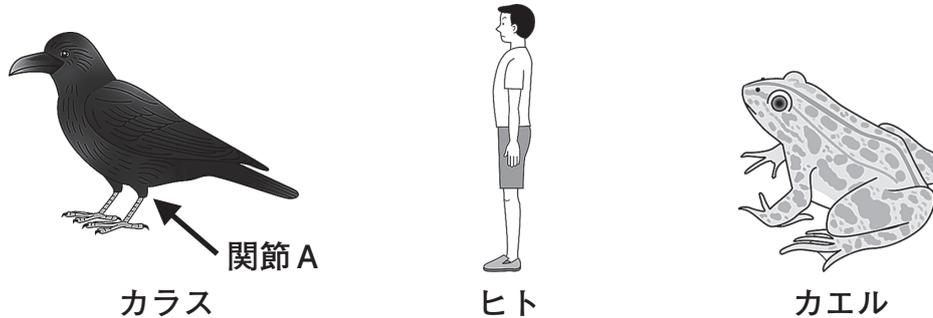
.....

- (1) ダイオウグソクムシとダンゴムシのあしのようにすが異なる理由として、考えられることを書きなさい。

レポート2の一部

【動機】

カラスのあしの関節Aは、同じセキツイ動物であるヒトやカエルと比較して、逆に曲がっていることに疑問をもち、調べようと考えた。



【課題】

カラス、ヒト、カエルのあしのつくりの共通点と相違点は何か。

【調べたことと結果】

- ① カラスの関節Aは、逆に曲がっているように見えるが、下の図のようにセキツイ動物の関節の曲がる向きには共通点がある。

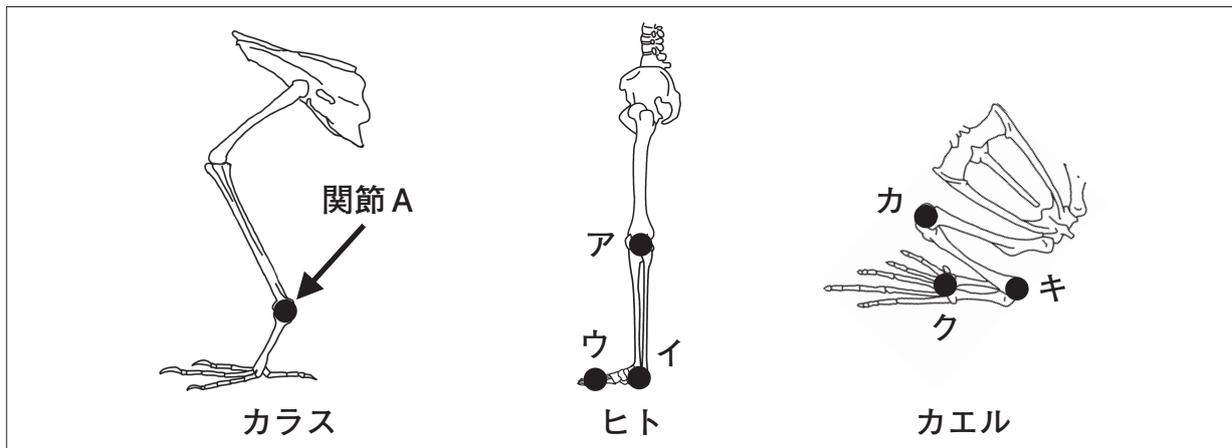


図 カラス、ヒト、カエルの骨格

- ② あしのつくりの相違点は・・・・・・・・

【考察】

関節の曲がる向きには共通点があるので、カラスのあしの関節Aは、ヒトの ，カエルの に相当すると考えられる。

- (2) に当てはまる適切なものを、図のアからウまでの中から1つ選びなさい。
また、 に当てはまる適切なものを、図のカからクまでの中から1つ選びなさい。